



公開シンポジウム 「社会正義と地球環境 -包摂的な未来社会に向けて-

日時：2023年9月25日（月）10:00～17:30

場所：総合地球環境学研究所 京都市北区上賀茂本山457番地4
およびオンライン

「交通アクセス」<https://www.chikyu.ac.jp/rihn/about/access/>

参加方法：事前申込制、参加費無料 対面参加は定員あり

申込方法：右上のQRコード,または下記のURLへアクセスいただき、必要事項をご記入の上、お申込みください。

[https://zoom.us/meeting/register/tJAscOCurTMrEtUILrLFHnNtRq9fBs66VzFo](https://zoom.us/join/zoom/register/tJAscOCurTMrEtUILrLFHnNtRq9fBs66VzFo)

プログラム

◇開会挨拶 10:00～10:05

山極 壽一

(総合地球環境学研究所)



◇趣旨説明 10:05～10:15

谷口 真人

(総合地球環境学研究所)

人新世における
社会正義と地球環境



◇講演 (各 発表30分+質疑応答15分)

10:15～11:00

加藤 博文 (北海道大学)

先住民地における
地球環境問題と社会正義



11:00～11:45

福永 真弓 (東京大学)

修復的環境正義と
環境ガバナンス



11:45～12:30

笹岡 正俊 (北海道大学)

グローバルサウスの
環境・資源問題と社会的公正



13:30～14:15

飯山みゆき

(国際農林水産業研究センター)
緑の革命と社会正義



昼食休憩 12:30～13:30

14:15～15:00

宇佐美 誠 (京都大学)

包摂的な気候正義へ



15:00～15:45

笹岡 愛美 (横浜国立大学)

E L S Iと地球環境



休憩 15:45～16:00

◇討論 16:00～17:25

コメンテーター 池谷 和信 (10分)

(国立民族学博物館)



◇閉会挨拶 17:25～17:30

谷口 真人

(総合地球環境学研究所)





目的

人間活動による地球環境への影響が加速した人新世の開始から半世紀以上が経ち、様々な地球規模課題は、複合的に連鎖する複雑な地球環境問題となっている。産業革命後の工業化や緑の革命、都市化や情報化社会など、グローバル化の社会変容における均質な価値観の急激な浸透と格差の拡大は、この地球環境問題をさらに深刻化している。そしてこれら人新世に至る過程では、植民地化による資源の略奪や、先住民地における文化の蹂躪など、グローバルな社会課題と地球環境問題における人間文化の規範の問題がある。その中で先のCOP27においては、グローバルノースからグローバルサウスへの補償の枠組みが開始された。これらの動きは、衡平で包摂的な社会を目指す上で、気候正義を含めた社会正義が問われていると言え、弱者や取り残されている関係者との未来社会の共創が必要不可欠であることを示している。本シンポジウムでは、人新世において生じている様々な社会不正義と地球環境問題との関係を議論する。

主催：大学共同利用機関法人人間文化研究機構 総合地球環境学研究所
地球人間システムの共創プログラム

後援：公益社団法人日本地球惑星科学連合 地球人間圏セクション、日本地理学会、
日本文化人類学会（予定）、環境科学会、日本リスク学会、フューチャーアース日本委員会、
人間文化研究機構広領域連携型基幹研究プロジェクト
「横断的・融合的な地域文化研究の領域展開－新たな社会の創発を目指して－」

お問い合わせ：総合地球環境学研究所 三浦
(miuratomoko[a]chikyuu.ac.jp)

[a]は@に変えてください

